



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 6 月 10 日(金)

夏の植栽 編

6 月に入り、すみれ会の夏の花を準備するところとなりました。今年も昨年に引き続き、能代西高校から購入させていただくことになり、インパチェンス 300 鉢、サルビア 50 鉢を購入。園芸部の生徒さん、先生と一緒に植栽をしました。

夏の花は、のしろ白神ネットワークがGK京都と共同で製作したプランターカバーを使用し、商店の前や沿道に設置します。「私曲がってます」「スタンド付」など、とてもおしゃれでどこにもない個性的なものです。すみれ会がネットワークメンバーであることで一流の機材が使用できるわけです。

そして今年はまだ一人、私たちにサポートして下さる方が増えました。その方は浅野満雄さん。ほっとステーションの家主さんです。浅野さんは 20 年間仙台に暮らしていらっしゃいましたが、6 月に再び上町にお戻りになりました。店舗部分は今までどおりお借りすることになり、この日の植栽も一緒に手伝っていただき、みんなで記念写真をパチリ！この空き店舗があったからこそ屋台や大量な機材が保管でき、まち灯りや朝市、作品展示などの活動ができるわけで、私たちすみれ会には無くてはならない大切な拠点です。このご好意に感謝しながら、今後も大切にに使わせていただきたいと思います。

この日プランターカバーに入りきれなかった花たちは、リヤカーに肥料と苗を積んで、上町の所々に植えて歩きました。このリヤカーも優れもの！アルミ製なので軽くて丈夫、組立式なので大変便利です。ただ、組立てをすぐできる人が何人いるかが問題…。防災時のために、いつか訓練する必要があるかもしれませんネ！。

文：能登 祐子



ほっとステーション奥からネットワークオリジナルの木製鉢カバーがでできます。



西高の苗が次々と軽トラから下ろされます。



すみれ会もさることながら、西高のみなさんも手馴れた手つきです。



これからまちの中で育ちながら、通りに彩りを添えてくれるのが楽しみです。